

- 成長と分配の好循環の実現に向けた継続的な賃上げには、コスト上昇分が適切に価格転嫁できる環境の整備が必要です。
- 消費者庁では、賃金上昇が巡り巡ると物価上昇や更なる賃金上昇をもたらし得るという共通理解を消費者を含めた社会全体で醸成すべく、消費者の物価に対する理解を促進するための動画コンテンツを作成し、周知を図っています。

動画コンテンツ「値段が上がるって、本当に良くないこと?」「物価があがれば賃金も上がるってホント?」

日本の賃金と物価を巡るこれまでの状況や、モノやサービスの値段が決まる仕組み、消費者が物価上昇にどのように向き合えば良いかについて、わかりやすく解説。



- ✓ 値上げは、必ずしも悪いことではない
- ✓ 2022年頃までの約30年間、コストが上昇しても、企業が消費者離れをおそれて値上げできない状況が続いた
- ✓ 2022年頃から、生産コストの上昇が値段に反映され、賃金も物価も上がり始めている



- ✓ 現在は、賃金上昇と物価上昇の好循環ができつつある状況
- ✓ 賃金上昇と物価上昇の良い循環につなげていくことが大切
- ✓ キーワードは「値段の背景を意識して」「買って企業を応援」

＜より深く学びたい方向け＞

※メイン動画をより詳細に解説した過去動画です。

- #1 物価上昇! どうする?
- #2 物の値段はどうやって決まる?
- #3 物価が上がらないのは、なぜ良くないの?
- #4 日本の物価・賃金、世界と比べてここが変!
- #5 物価はなんで上がらないの?
- #6 物価をウォッチしよう!

作成した動画コンテンツは、消費者庁ホームページやYouTubeに掲載し、SNS (X等) を活用した周知・啓発を行っているほか、消費者団体に対して、当該コンテンツのチラシをお送りするなどして、周知を図っています。



3~5分
で見られ
ます!

動画は[こちら](#)、または

消費者庁 物価について考える

検索